**砂浜の海洋生物**

釧路湾の西側は、平坦な砂浜と砂の海底が広がり、魚が隠れられる場所はほとんどありません。釧路湾の西側に住む魚の特徴と生存技術は、岩がちな東側の魚のものとは異なります。

天然の迷彩

これらの砂地には、ヌマガレイ (学名: Platichthys stellatus)、クロガシラガレイ (学名: Limanda schrenki)、メガネカスベ (学名: Raja pulchra) など、多くの種類の平たい魚が生息しています。これらの種は、平らな体と、砂の海底に合った体色をしています。キュウリウオ (学名: Osmerus mordax dentex) やチカ (学名: Hypomesus japonicus) といった細身の魚は銀色で、砂にまぎれて目立ちません。柔らかい砂の海底は、ホタテガイ (学名: Patinopecten yessoensis) やウバガイ (学名: Pseudocardium sachalinense) といった軟体動物にとって理想的な環境です。ウバガイは、捕食者から逃れるために、砂の下にもぐることができます。